

衆第七十九回帝國議院

所得稅法中改正法律案外十七件委員會議錄(速記)第五回

付託議案

所得稅法中改正法律案(政府提出)

(第一〇號)

法人稅法中改正法律案(政府提出)

(第二號)

所得稅法人稅内外地關稅法中改正

法律案(政府提出)(第二二號)

相續稅法中改正法律案(政府提出)

(第三號)

織物消費稅法中改正法律案(政府

提出)(第二四號)

物品稅法中改正法律案(政府

(第二五號)

電氣瓦斯稅法(政府提出)(第二

六號)

廣告稅法案(政府提出)(第二

七號)

馬券稅法案(政府提出)(第二

八號)

印紙稅法中改正法律案(政府

提出)(第二九號)

利得稅法中改正法律案(政府

(第三〇號)

臨時稅法中改正法律案(政府

提出)(第三一號)

特別法人稅法中改正法律案(政府

提出)(第三二號)

營業稅法中改正法律案(政府

提出)(第三三號)

臨時租稅措置法中改正法律案(政

府提出)(第三三號)

國庫出納金端數計算法中改正法律

(政府提出)(第三四號)

戰時災害國稅減免法案(政府提出)

(第三五號)

所得稅等ノ日滿二重課稅防止ニ關スル

法律案(政府提出)(第三六號)

地方分與稅法中改正法律案(政府提出)

所得稅等ノ日滿二重課稅防止ニ關スル法

律案(政府提出)

戰時災害國稅減免法案(政府提出)

所得稅等ノ日滿二重課稅防止ニ關スル法

律案(政府提出)

豫メ申上ゲテ置キマスガ、今日ハ午前中デ

出席委員左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

印紙稅法中改正法律案(政府提出)

臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)

特別法人稅法中改正法律案(政府提出)

營業稅法中改正法律案(政府提出)

臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)

國庫出納金端數計算法中改正法律案(政

府提出)

所得稅等ノ日滿二重課稅防止ニ關スル

法律案(政府提出)(第三七號)

相續稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

物品稅法中改正法律案(政府提出)

電氣瓦斯稅法案(政府提出)

廣告稅法案(政府提出)

馬券稅法案(政府提出)

第六類第五號 所得稅法中改正法律案外十七件委員會議錄 第五回 昭和十七年一月二十八日

此ノ委員會ハ止メマス、午後ハ委員室ノ都合デヤレナイサウデアリマス、ソレカラ明日ハ午前中ハ此ノ委員室ガ塞ガリマスカラ、午後一時カラヤリタイト云フ豫定デアリマス、豫メ申上ゲテ置キマス——ソレデハ通告順ニ依ツテ發言ヲ許シマス——宇賀君

○宇賀委員 私昨日大藏大臣ニ質問シタ中デ、事計數ニ關スルノデ、主稅局長カラ御答ヘヲ求メル點ガ二ツバカリ残ツテ居マシタ、ソレヲ今日此處デ主稅局長カラ承リタイト思ヒマス

○松隈政府委員 昨日宇賀委員ノ御尋ねノアリマシタ點デ、調査ヲ致シマシタ結果申上ゲルコトニ答辯ヲ保留致シマシタモノハ、公債、社債、預金ノ利子ハ源泉選擇ヲ致シマシタ場合ニ百分ノ二十五ト云フ稅率ニナツテ居ルノデアルガ、假ニ源泉選擇ヲ致シマシテ百分ノ二十五ト云フ比例稅率ニ依ツテ課稅スルコトヲ止メテ、株式等ノ配當ト同様ニ綜合累進課稅率ニ改メタトシタナラバ、稅額ニ於テドノ位ニ差ガアルカ、斯ウ云フ御尋ネデアリマス、是ハ固ヨリ豫想ノ數字デアリマスノデ的確ニハ申上兼ネマスルガ、一應推算シテ計算致シマスト現在採用致サントシテ居リマス百分ノ二十五ト云フ源泉選擇ノ稅率ハ所得五万圓以上ノ人ニアリマシテハ百分ノ二十五ヨリモ重イ稅率下ノ人ニアリマスレバ、綜合課稅ヲ受ケタ方ガ負擔が輕クテ濟ム、所ガ所得ガ五万圓ヲ超エルヤウナ人ニアリマシテハ、其ノ上ニ乗ツカリマスル公債、社債、預金ノ利子デアリマスト、四割ヲ引イテ課稅致シマシテモ、其ノ稅率ハ百分ノ二十五ヲ超エマス

カラ、綜合課稅ヲ受ケルヨリモ源泉選擇ヲ譯デアリマス、ソレヲ廢止シタト致シマシテ計算スルノデアリマスルガ、大體配當ト同ジヤウナ分布狀況デ、公債、社債、預金ノ利子ガ持タレテ居ル、斯ウ云フ風ニ假定致シマシテ、平均稅率ヲ算出シテ増差額ヲ見テミマスト、大體二千万圓位ノ増差額ガ出ルベキデハナイカ、斯ウ云フ計算ニナルノデアリマス

○宇賀委員 次ニ綜合課稅ノ現在ノ控除額ハ現行法デハ五千圓トナツテ居リマスガ、今度ノ改正ニ依リマスト三千圓ト云フコトニ切下ゲテアリマスガ、其ノ結果トシテドノ位ノ人員ト、ドノ位ノ金額ガ殖エルコトニナリマスカ、稅ヲ納メナケレバナラヌヤウニナル人員ト金額ヲ御示シ願ヒマス

○松隈政府委員 総合所得稅ニ於キマシテ課稅最低限ヲ五千圓カラ三千圓ニ引下ゲタコトニ依リマス所得納稅者ノ增加人員ハ、其ノ中家族ヲ合セテ四十万三千人、其ノ中家族ハ十三万五千人デアリマスガ、是ガ改正後ニ於キマシテハ七十六万六千人、其ノ時ニ「本法ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス、本法施行前開始シタル相續ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル」ト云フ、ヤハリ、是ト同ジヤウナ條文ガゴザイマシタガ、其ノ時ニ十五年一月中ニ、マダ此ノ法律ガ改正後ニ於ケル增加人員ハ、總數デハ三十万三千人、家族ノモノノ增加致シマス數ハ、其ノ中八万一千人デアリマス、增加致シナルノデアリマス、隨テ所得五万圓以下ノ人ニアリマスレバ、綜合課稅ヲ受ケタ方ガ負擔が輕クテ濟ム、所ガ所得ガ五万圓ヲ超エルヤウナ人ニアリマシテハ、其ノ上ニ乗ツカリマスル公債、社債、預金ノ利子デアリマスト、四割ヲ引イテ課稅致シマシテモ、其ノ稅率ハ百分ノ二十五ヲ超エマス

クシテ只今死ンダ人間ガアルトシマスト、今度ハ二十八條ノ中ノ「五年又ハ七年以内」ト云フノヲ「七年又ハ十年以内」ニ改メテ居リマスガ、其ノ條文ハ適用ニナルノデアリマスカ、是ハ適用ニナラナイノデアリマスカ、從前ノ例ニ依ルトアリマスカラ、五年又ハ七年デ律セラレルノデアリマスカ、其ノ點ヲ一ツ御伺シテ置キタイ

○松隈政府委員 第二十八條ノ改正規定ハ外地デ開始シマシタ相次相續ノ免除ノ年限ノ關係デアリマスノデ、内地ノ相續ニハ直接關係ハナイ譯デアリマス

○宇賀委員 私少シ考へ違ヒヲシテ居リマシタ、此ノ前ノ相續稅ノ改正ノ時ニ三年ガ五年ニナリ、五年ガ七年ニナリマシタ、其ノ時ニ「本法ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス、本法施行前開始シタル相續ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル」ト云フ、ヤハリ、是ト同ジヤウナ條文ガゴザイマシタガ、其ノ時ニ十五年一月中ニ、マダ此ノ法律ガ改正後ニ於ケル增加人員ハ、總數デハ三十万三千人、家族ノモノノ增加致シマス數ハ、其ノ中八万一千人デアリマス、增加致シナルノデアリマス、隨テ所得五万圓以下ノ人ニアリマスレバ、綜合課稅ヲ受ケタ方ガ負擔が輕クテ濟ム、所ガ所得ガ五万圓ヲ超エルヤウナ人ニアリマシテハ、其ノ上ニ乗ツカリマスル公債、社債、預金ノ利子デアリマスト、四割ヲ引イテ課稅致シマシテモ、其ノ稅率ハ百分ノ二十五ヲ超エマス

ハ、十五年ニ内地ノ相次相續ノ年數ヲ變ヘマシタ時ニ、外地ノ分モ權衡ヲ取ツテ變ヘルベキデアツタノデアリマスガ、其ノ點ガ譯デアリマス、ソレヲ廢止シタト致シマシテ計算スルノデアリマスルガ、大體配當ト同ジヤウナ分布狀況デ、公債、社債、預金ノ利子ガ持タレテ居ル、斯ウ云フ風ニ假定致シマシテ、平均稅率ヲ云フコトニ相成ルハ「本法施行前開始シタル相續ニ關シテハ仍相續ニ在リテハ昭和十七年一月一日以後ニ開始シタルモノ」トアリマスガ、延長デハナ

クシテ只今死ンダ人間ガアルトシマスト、今度ハ二十八條ノ中ノ「五年又ハ七年以内」ト云フノヲ「七年又ハ十年以内」ニ改メテ居リマスガ、其ノ條文ハ適用ニナルノデアリマスカ、是ハ適用ニナラナイノデアリマスカ、從前ノ例ニ依ルトアリマスカラ、五年又ハ七年デ律セラレルノデアリマスカ、其ノ點ヲ一ツ御伺シテ置キタイ

○宇賀委員 相續稅ニ付テハソレデ止メテ置キマス、其ノ次ニ電氣瓦斯稅ト云フ新シイ稅ガ出來ルコトニナリマシタガ、私ハ此ノ稅法ヲ以テ今日ノ狀態ニ於テ是位ノ課稅ヲスルノハ當然グラウト思ヒマスシ、業者ニ於テモ——業者ト云フカ寧ロ消費者ニ於テモ、此ノ際ハ是モ甘んジテ御受ケナケレバナラヌカト思ヒマスガ、唯此處ニ出マシタ課稅ノ標準ノコトニ付テ、第六條ニ依リマスト、電氣瓦斯總テ料金ノ百分ノ十ト云フヤウナ標準ニナツテ居リマスガ、一體電氣ニ致シマシテモ電氣廳ガ出來マシテ以來、日本ノ發電ヲ統一シテ、追々日本全國ノ消費者ノ料金ヲ均一ナラシムルコトニ今日マデ努力シタ形跡ハアリマスガ、今日マダ均ニナツテ居ナイ所ガ非常ニ多ウゴザイマス、殊ニ瓦斯ノ如キモノニアリマシテハ、サウ云フ電氣廳ミタイナ瓦斯廳ト云フモノガナイ爲ニ、且又是ハ出來ナイ爲メデモアリセウガ、現ニ東京ダケヲ取ツテ見マシテモ、舊市内ト新市内トハ料金ガ違ツテ居リマス、又瓦斯ノ主ナル生産費ト云フモノハ石炭デアリマスカラ、石炭ノ手ニ入り易イ所トカ、運賃ノ安イ所ハ比較的安ク出來

ト云フヤウナ所ハ非常ニ瓦斯電氣ノ如キ料
金デモ高クナツテ居リマシテ、全國的ニ見
マシテ料金ト云フモノハ餘程凸凹ニナツテ
居ルコトヲ考ヘテ見マスルト、先ヅ一番ニ
文化ニ浴シ得ラレル所ガ一番料金ガ安クナ
ツテ居ルノガ多イヤウデアリマス、ソレハ
瓦斯ト電氣ト同一ニ議論ハ出來ナイカモ知
レナイ、ソレデアルカラ私ノ希望ヲ申上ゲ
ルナラバ、ナゼ料金ヲ決メル時ニ使用量ヲ
標準ニシテ料金ヲ決メテ、瓦斯ニ付テハ何
立方、電氣ニ付テハ何「キロ・ワット」以上
ハ使ハセナイト云フヤウナコトニシテ、ソ
レ以上使ツタ者ニ付テハ單價幾ラニ付テ其
ノ料金幾ラト云フ——要スルニ「メーター」
デ出ス、電氣事業者ナリ或ハ瓦斯事業者ナ
リカラ來マシテ、私共ニ紙ヲ配ツテ行ク時
ニ、檢針ヲシタ數量ヲ書イテ行クノデアリ
マスカラ、其ノ數量ヲ見レバ料金ガ分ルノ
デアリマス、所ガ其ノ料金タルヤ今言フ通
リニ色々々達ツテ居リマス、ノミナラズ茲ニ
モ其ノ七條ニ於テ「本法ニ於テ料金トハ電氣
料、瓦斯料、基本料其ノ他名義ノ何タルヲ
問ハズ電氣又ハ瓦斯ノ使用ニ付電氣事業者
又ハ瓦斯事業者ニ支拂フベキ金額ヲ謂フ」ト
云フコトニナツテ居リマスルト、同ジ三圓
ヲ支拂フ時ニ於キマシテモ、本當ハ瓦斯ヲ
倍モ使ツテモ三圓ニナラナイモノモアリ、
半分シカ使ハナクテモ三圓ニナルヤウナ不
都合ナ所モ出來テ來ルノデアリマスカラ、
ナツテ居ルカ、六大城市ト日本デ一番瓦斯
スツタコトトハ思ヒマスルガ、電氣ニ付テ
一體ドウナツテ居ルカ、又瓦斯ニ付テドウ
サウ云フ所ハ大藏省ノ御方ハ十分御調査ナ
ガ高イト認メラレル沖繩デアルトカ、北海

○松隈政府委員 電氣瓦斯稅ヲ創設スルニ
當リマシテ、其ノ課稅標準ヲ從量稅、即チ
使用致シマシタ電氣ノ量デアルトカ、或ハ從
使用致シマシタ瓦斯ノ量ニ依ルカ、或ハ從
價稅、即チ使用ノ代價トシテ、支拂フ所ノ料
金ニ依ルカト云フコトニ付テ、檢討ヲ致シタ
ノデアリマスルガ、從量稅ヲ取ルニ當ツテ
一つノ大キナ障碍ハ、電氣ノ方面ニ於キマ
シテハ相當程度定額制ノ電燈料金ヲ取ツテ
居ル所ガアルノデアリマス、是ハ定額制デ
アリマス爲ニ、何程ノ電力量ヲ消費シタカ
ト云フコトノ調査が困難ナノデアリマス、
又一方稅ノ建前カラ粗ヒマス所ハ結局消費
能力ト言ヒマスカ、電氣瓦斯ノ使用ニ對シタ
テ支拂フ所ノ金額ニ擔稅力ヲ認メテ居リマス
ル關係上、旁々併セマシテ、從價稅、即チ支
出金額ニ應ズル課稅ト致シタヤウナ次第デ
アリマス、此ノ場合ニ於キマシテ、只今御
話ノアリマシタヤウニ、地域ニ依リマシテ、
料金ニ或ル程度ノ差等ガアルコトハ承知致
シテ居リマスノデ、其ノ不公平ヲ出來ルダケ
ケナクスコドニ付テ苦心ヲ致シタノデアリ
マス、關係廳ニ於キマシテモ出來ルダケ早
イ機會ニ料金ノ調整ヲ致シタイ、斯ウ云フ
ツテ居リマス、サウシマスレバ同ジヤウナ
電力料金ヲ拂ツテ使用量ニ差ノアルト云フ
期間モ比交内豆イ間デハナイカト思ヒマス、
道デアルトカ、大キナ所二、三デ宜シウゴ
ザイマスカラ、電氣料、瓦斯料ト云フモノ
ガドンナ風ニナツテ居ルカ、此處デ別ニ差
支ヘナイ限リ一ツ御示シヲ願ヒタイト思ヒ
マス

併シ其ノ間ニ於キマシテモ尙且出來ルダケ
不公平ヲ是正シヨウト思ヒマス、少クトモ
課税最低限ニ付キマシテハ電力料金ガ高イ
爲ニ直キニ三圓ニナツテ課税サレルト云フ
ヤウナコトヲ防グヤウニ工夫シタ譯デアリ
マス、例ヘバ電氣ニ例ヲ取ツテ見マスト、
定額制ノ所デ最モ高イヤウナ場所、北海道
東北ノ一部、或ハ沖繩等ニ於キマシテハ十
六燭光デ一圓二十五錢モ致シマス、東京デ
アルト大體五十五錢位カト思フノデアリマ
ス、サウシマスト、東京デハ五燈位點ケテ
モ課税ニナラナイノニ、北海道、沖繩等ノ
電燈料ノ高イ所デアルト三燈位點ケテモモ
ウ課税ニナルト、斯ウ云フコトニナリマス
ノデ、特ニ課税最低限三圓ノ外ニ——十六
燭光デ四燈程度マデハ課税外ニ置ク、斯ウ
云フコトニ致シマス、サウ云フ料金ノ高イ
地方ヲ見テミマスト、大體四燈以上點ケテ
居ルモノハ極メテ稀デアリマスルカラ、此
ノ免稅點ニ依ソテ極端な場合ハ救濟サレル
而モ比較的近イ機會ニ關係廳間ニ於テ出來
ルダケ料金ノ公正ヲ圖ル、其ノ間、僅カラ
間完全ニ統一サレナイト致シマシテモ、例
ヘバ同ジ程度ノ量ヲ使用シタイト致シマシ
テ、三十錢、五十錢位ノ差ガアルト假定致
シマシテモ、其ノ程度ノ差デアリマスレバ、
稅額ニ直シテ見マスト、一割ノ差デスカラ、
稅ノ上デハ三錢カ五錢ノ差シカ出ナイ、斯
ウ云フヤウナコトデアレバ從量稅ヲ採用シ
ナカツタシマシテモ、標準ガ取り難イトモ
スレバ、先づ已ムヲ得ナイコトデハナカラ
ウカト、斯様ニ思ツテ居ル次第デアリマス
○宇賀委員 只今御示シヲ受ケマシタケレ
ドモ、私ニハ少シ首肯ノ出來ナイ點モ尙ア
ルノデスガ、何カ定額燈ハ幾ラ電氣ヲ使フ

カ分ラスト云フヤウナコトハ、要スルニ定額燈デアリマスルカラ節約シテモ電燈會社ガ値ヲ引イテ吳レナイノデ、夜目ヲツブツテ居ナガラ電燈ヲ點ケツ放シニシテ置イテ使フ、泥棒デモ御招キスルヤウナ狀態ニ置イテアルヤウナモノダカラ電光ヲ幾ラ使フカ分ラヌ、併シナガラ是デモヤハリアナタノ方デ御出シニナツタ勅令案ノ何カノ要綱ノ十ヲ見ルト、大體何燭光ガドノ位ノ「ワット・アワー」ノ電氣料金ト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、併シはヤハリ電力節約ト云フ一面カラ見テモ、私ハ「メートル」制ニ決メタ方ガ都合ガ好イノデヤナイカ、今北海道ヤ沖繩ノ方ハ四燈以上點ケテ居ル人ハ澤山ナイヤウニ言ハレルガ、其ノ通リデス、農村デハ恐ロシク取ラレルカラ、モツト澤山點ケタイケレドモ、餘計取ラレテハタマラナイカラ我慢シテ居ルノデアツテ、其ノ我慢ヲシテ居ルノヲ見テ四燈以上點ケテ居ル人間ハ、ソレハ非常ナ負擔力ノアル者ダカラト云フ御批判ハ、是ハドウモ當ラナイノデハナイカト思ヒマス、併シゾコマデ行クト議論スルコトニナルガ、私ノ申スノハ七條ニハ「電氣料、瓦斯料、基本料其ノ他名義ノ何タルヲ問ハズ」云云、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、是ハ私モ電力會社ニ居ツタコトガアリマスカラ知ツテ居リマスガ、不便ノ所程電燈料金ト云フモノハ高クナリマス、途中ニ電信柱ヲ立テルトカ、ソレニ具ヘル所ノ器具ハ半分ソツチデ持テト云フノデ高クナル、是ハ無理ダカラ、出來レバ從量稅ニシタ方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス、アナタノ方モ無論業者其ノ他ト十分打合セラシテ之ヲ御作リニナツタモノデアラウト思フカラ、是

以上質問ハ止メテ置キマスガ、基本料ナドト云フモノニナリマスト貸付器具ノ損料ト云フヤウナモノ、瓦斯ノ方モ釜ヲ置クアレヲ借リテ置ク人ト、買取ツテ自分ノモノニシテ使フモノト、ヤハリソコラハ餘程違フノデアリマス、サウ云フコトニナルト貧乏人程——貧乏人ト云ツテハ貧乏人ガ三圓ノ瓦斯ヲ使フノハ釐澤ヂヤナイカト言ハレルカ知レマセヌガ、少シ金ノアル人ノ料金ノ方ガ少クテ濟ムヤウナ方法ガ出來テ居ルト思フ、サウ云フ所カラ見ルト私ハドウモ感心シナイヤウニ思ヒマスガ、近イ内ニ全國平均サレルヤウニナルカモ知レナイト仰シヤル、私ハ是ハ空頬ミグト思ツテ餘り當ニシテハ居リマセヌケレドモ、折角コヨデ御作りニナツタ法律デスカラ之ヲ御施行ナサルノモ宜シイデセウ、更ニモウ一つ御聽キシタノハ、勅令案ノ内容トシマシテ九ト云フ所ニ法第六條第二項關係事項ト云ツタヤウナモノガゴザイマスガ、是ハ「前項ノ料金又ハ出力ノ算定ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアル、是デスカ、私ハ法案第六條ノ、課セザルモノ、課スルモノト一ツアルヤウナ場合ニ、之ヲ區分スルト云フヤウナコトハ、是ハ中々大切ナ條文ダト思ヒマスガ、之ヲ區分スルコトニ付テ、ドウ云フ風ニ適當ニ區分スルカト云フコトニ付テ、業者ト御打合セデモシテ、適當ナル方法ヲ御講ジニナルノデセウカ

○松隈政府委員 先づ第七條ノ關係ノ方カラ御答へ申シマスガ、料金中ニハ計器ノ貸付料、又ハ其ノ他ノ器具貸付料、是ハ瓦斯焜爐ト云フヤウナ、假ニ會社デ貸シテ居ルト云フヤウナ物ガアリマスレバ、其ノ器具

貸付料ハ包含セシメナイ扱ヒノ積リデゴザスル法案第六條第二項關係ト申シマスノハ、勅令案要綱ノ九ト致シマシテ示シテ居リマスル譯デアリマス、唯其ノ場合ニ於キマシテ、其ノ器具機械ニ依ツテ使用致シマスル御話ノアリマシタヤウニ「前項ノ料金又ハスル規定ヲ御示シシタ譯デアリマス、何レ詳シク命令ニハ書ク積リデアリマスルガ、電氣瓦斯税ハ料金ノ百分ノ十、若クハ出力數一二圓ノ割合デ徵收スルノデアリマスルガ、電氣瓦斯税ハ課稅ヲ致シマスモノト、課稅外ノモノトゴザイマス、是ガ同一ノ「メータ」デ計ラレルト云フ、斯ウ云フ場合ガアリマス、其ノ時ニハ課稅外ニ相當スル分外ノカナケレバナラナイノデ、其ノ除キマスル規定ヲ勅令ヲ以テ定メルト云フ趣旨ダケ勅令案要綱トシテ掲ゲテアルノデアリマス、大體ノ考ヘ方ヲ申シマスト、同一ノ需要場所ニ於テ使用スル電氣又ハ瓦斯ニ對シマシテ支拂フベキ料金ガ、電氣瓦斯税ヲ課シマスルモノト、電氣瓦斯税ヲ課サナイモノトアリマスル場合ニ於キマシテハ、電氣瓦斯税ヲ課スル標準ニナル所ノ其ノ料金ト云フモノハ、納稅義務者ノ申請ニ依ツテガドレ位ノ電氣ヲ食フモノデアルカト云フコトハ、大體標準ニ依ツテ決メナイ、ソレハ使ヒ方ニ依ツテ標準ヨリ餘計ニ出ルコトモアリ、或ハ少ナクナルコトモアルト思ヒマスガ、ソレヲ毎月調ベルト云フコトハ非常ニ困難デアル、ソレカラ理髮店デ「タオル」蒸器デ瓦斯ヲ使ウテオ湯ヲ沸カシ、「タオル」ヲ蒸シテ居ル、是ハ業務用デスカラ引クト云フコトニ致シタインデアリマス、ソコデドウ云フモノニハ課セル、ドウ云フモノハ自分ノ使用スル器具機械ノ中、此ノ

スル譯デアリマス、唯其ノ場合ニ於キマシテ、其ノ器具機械ニ依ツテ使用致シマスル御話ノアリマシタヤウニ「前項ノ料金又ハスル譯デアリマス、大藏當局ト瓦斯會社ト御話ヲ概要ヲ御示シシタ譯デアリマス、何レ詳シク命令ニハ書ク積リデアリマスルガ、電氣瓦斯税ハ料金ノ百分ノ十、若クハ出力數一二圓ノ割合デ徵收スルノデアリマスルガ、電氣瓦斯税ハ課稅ヲ致シマスモノト、課稅外ニ相當スル分外ノモノトゴザイマス、是ガ同一ノ「メータ」デ計ラレルト云フ、斯ウ云フ場合ガアリマス、其ノ時ニハ課稅外ニ相當スル分外ノカナケレバナラナイノデ、其ノ除キマスル規定ヲ勅令ヲ以テ定メルト云フ趣旨ダケ勅令案要綱トシテ掲ゲテアルノデアリマス、大體ノ考ヘ方ヲ申シマスト、同一ノ需要場所ニ於テ使用スル電氣又ハ瓦斯ニ對シマシテ支拂フベキ料金ガ、電氣瓦斯税ヲ課シマスルモノト、電氣瓦斯税ヲ課サナイモノトアリマスル場合ニ於キマシテハ、電氣瓦斯税ヲ課スル標準ニナル所ノ其ノ料金ト云フモノハ、納稅義務者ノ申請ニ依ツテガドレ位ノ電氣ヲ食フモノデアルカト云フコトハ、大體標準ニ依ツテ決メナイ、ソレハ使ヒ方ニ依ツテ標準ヨリ餘計ニ出ルコトモアリ、或ハ少ナクナルコトモアルト思ヒマスガ、ソレヲ毎月調ベルト云フコトハ非常ニ困難デアル、ソレカラ理髮店デ「タオル」蒸器デ瓦斯ヲ使ウテオ湯ヲ沸カシ、「タオル」ヲ蒸シテ居ル、是ハ業務用デスカラ引クト云フコトニ致シタインデアリマス、ソコデドウ云フモノニハ課セル、ドウ云フモノハ自分ノ使用スル器具機械ノ中、此ノ

スル譯デアリマス、唯其ノ場合ニ於キマシテ、其ノ器具機械ニ依ツテ使用致シマスル御話ノアリマシタヤウニ「前項ノ料金又ハスル譯デアリマス、大藏當局ト瓦斯會社ト御話ヲ概要ヲ御示シシタ譯デアリマス、何レ詳シク命令ニハ書ク積リデアリマスルガ、電氣瓦斯税ハ料金ノ百分ノ十、若クハ出力數一二圓ノ割合デ徵收スルノデアリマスルガ、電氣瓦斯税ハ課稅ヲ致シマスモノト、課稅外ニ相當スル分外ノモノトゴザイマス、是ガ同一ノ「メータ」デ計ラレルト云フ、斯ウ云フ場合ガアリマス、其ノ時ニハ課稅外ニ相當スル分外ノカナケレバナラナイノデ、其ノ除キマスル規定ヲ勅令ヲ以テ定メルト云フ趣旨ダケ勅令案要綱トシテ掲ゲテアルノデアリマス、大體ノ考ヘ方ヲ申シマスト、同一ノ需要場所ニ於テ使用スル電氣又ハ瓦斯ニ對シマシテ支拂フベキ料金ガ、電氣瓦斯税ヲ課シマスルモノト、電氣瓦斯税ヲ課サナイモノトアリマスル場合ニ於キマシテハ、電氣瓦斯税ヲ課スル標準ニナル所ノ其ノ料金ト云フモノハ、納稅義務者ノ申請ニ依ツテガドレ位ノ電氣ヲ食フモノデアルカト云フコトハ、大體標準ニ依ツテ決メナイ、ソレハ使ヒ方ニ依ツテ標準ヨリ餘計ニ出ルコトモアリ、或ハ少ナクナルコトモアルト思ヒマスガ、ソレヲ毎月調ベルト云フコトハ非常ニ困難デアル、ソレカラ理髮店デ「タオル」蒸器デ瓦斯ヲ使ウテオ湯ヲ沸カシ、「タオル」ヲ蒸シテ居ル、是ハ業務用デスカラ引クト云フコトニ致シタインデアリマス、ソコデドウ云フモノニハ課セル、ドウ云フモノハ自分ノ使用スル器具機械ノ中、此ノ

ゴザイマス

○宇賀委員 ドウモ私ニハ香込ミニクイノデアリマス、大藏當局ト瓦斯會社ト御話ヲシテ決メマシテモ、個人々々ノ中ニハ課稅ガ餘計ダトカ少ナイトカ言ツテ來ラレルカモ知レナイ、其ノ時瓦斯業者ト云フモノハ結局稅ヲ取立テル代理人見タヤウナモノデアリ、支拂フモノハ使用者デアリマスカラ、使用者ハ中々サウ云フ場合ニ納得シナイデラウト思フシ、且又瓦斯業者ハサウ亂暴ナコトモヤリニクイト云フヤウナ點モアツテ、愈々實際ノ業務ニ當ル時ニハ無理ノイカニヤウニシナイト、吾々ノ所ヘ瓦斯何トカ協會トテ來マス利益ヲ算定スル歩合ノヤウナモノヲ作リマスガ、ソレニ似タヤウナモノヲ業者ト研究シテ作リ、ソレニ依ツテ査定ヲシタトイ思フノデアリマス、例ヘバ西洋洗濯屋サンガ電氣「アイロン」ヲ使ツテ居ルトスレバ、其ノ電氣「アイロン」ヲ使フ電氣料ハ課稅外ニナル譯デスガ、「ツノ電氣「アイロン」ガドレ位ノ電氣ヲ食フモノデアルカト云フコトハ、大體標準ニ依ツテ決メナイ、ソレハ使ヒ方ニ依ツテ標準ヨリ餘計ニ出ルコトモアリ、或ハ少ナクナルコトモアルト思ヒマスガ、ソレヲ毎月調ベルト云フコトハ非常ニ困難デアル、ソレカラ理髮店デ「タオル」蒸器デ瓦斯ヲ使ウテオ湯ヲ沸カシ、「タオル」ヲ蒸シテ居ル、是ハ業務用デスカラ引クト云フコトニ致シタインデアリマス、ソコデドウ云フモノニハ課セル、ドウ云フモノハ自分ノ使用スル器具機械ノ中、此ノ

風ニ致シマシテ、此ノ點想定デアリマスルノデ、出來ルダケ餘裕ヲ以テ無理ノ行カナイヤウニ致シタイト思ヒマス、サウ云フ面倒ナコトヲシナイデ一齊ニ課稅シテシマツタラ、「メータ」ヲ見ルダケデ課稅手續ハ簡單デアリマスケレドモ、又サウ云フ案ニ致シマスト、ソレハ亂暴デハナイカト云フコトニナリマスノデ、ココハ或ル程度手數モ掛ケテ課稅ノ公平モ期シ、而モ實行ニ當ツテ一々詮索シナケレバ料金ガ決マラヌト云フアリマシテ、實行ニ當リマシテハ御注意ニ依リマシテ尙ホ慎重ニ且ツ無理ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス

○宇賀委員 モウ一點伺ヒマスガ、各需要者ガ幾ラ使ツタカ「メータ」ヲ檢針スル人達ガ十二箇月ノ中必ズ一日ナラ一日ニ檢針日ヲ決メテ、其ノ日ニ雨ガ降ツテモ雪ガ降ツテモ、ドンナ故障ガアツテモ檢針スル又何處ハ二日、何處ハ三日ト決メテ其ノ日ニ必ズ檢針スルト云フコトハ中々困難デアルト思ヒマス、隨テ一箇月ノ料金幾ラト云フコトハ大體ノコトハ出ルニシテモ、キツチリシタ料金ハ出ニクイト思ヒマスガ、ソレニ付テハ如何デスカ、ドウセ金ヲ取ル人ハ電氣業者ナリ、瓦斯業者デアリマセウカラ、ソレ等ノ點ニ付テハ業者ト需要者トノ間ニ色々問題ガ起リハシナカト思ヒマスガ、居ラレマスカ

○松隈政府委員 料金ガ檢針日ノ關係デ一箇月ニ満タナイ場合ガアツタリ、或ハ一箇月ヲ超ユルト云フヤウナ場合ノアリマスコトハ御示シノ通りデアリマス、此ノ場合ニ

於テ免稅點ヨリ以上デアルコトノハツキリシテ居ル場合ニハ、檢針日ニ調ベタ所ニ依リマジテ納稅サセテ置イテ大體間違ヒハナ致シマスト、ソレハ亂暴デハナイカト云フコトニナリマスノデ、ココハ或ル程度手數モ掛ケテ課稅ノ公平モ期シ、而モ實行ニ當ツテ一々詮索シナケレバ料金ガ決マラヌト云フアリマシテ、實行ニ當リマシテハ御注意ニ依リマシテ尙ホ慎重ニ且ツ無理ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス

○宇賀委員 モウ一點伺ヒマスガ、各需要者ガ幾ラ使ツタカ「メータ」ヲ檢針スル人達ガ十二箇月ノ中必ズ一日ナラ一日ニ檢針日ヲ決メテ、其ノ日ニ雨ガ降ツテモ雪ガ降ツテモ、ドンナ故障ガアツテモ檢針スル又何處ハ二日、何處ハ三日ト決メテ其ノ日ニ必ズ檢針スルト云フコトハ中々困難デアルト思ヒマス、隨テ一箇月ノ料金幾ラト云フコトハ大體ノコトハ出ルニシテモ、キツチリシタ料金ハ出ニクイト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ付テハ業者ト需要者トノ間ニ色々問題ガ起リハシナカト思ヒマスガ、居ラレマスカ

○松隈政府委員 料金ガ檢針日ノ關係デ一箇月ニ満タナイ場合ガアツタリ、或ハ一箇月ヲ超ユルト云フヤウナ場合ノアリマスコトハ御示シノ通りデアリマス、此ノ場合ニ

シテ居ル場合ニハ、檢針日ニ調ベタ所ニ依リマジテ納稅サセテ置イテ大體間違ヒハナ致シマスト、ソレハ亂暴デハナイカト云フコトニナリマスノデ、ココハ或ル程度手數モ掛ケテ課稅ノ公平モ期シ、而モ實行ニ當ツテ一々詮索シナケレバ料金ガ決マラヌト云フアリマシテ、實行ニ當リマシテハ御注意ニ依リマシテ尙ホ慎重ニ且ツ無理ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス

○宇賀委員 モウ一點伺ヒマスガ、各需要者ガ幾ラ使ツタカ「メータ」ヲ檢針スル人達ガ十二箇月ノ中必ズ一日ナラ一日ニ檢針日ヲ決メテ、其ノ日ニ雨ガ降ツテモ雪ガ降ツテモ、ドンナ故障ガアツテモ檢針スル又何處ハ二日、何處ハ三日ト決メテ其ノ日ニ必ズ檢針スルト云フコトハ中々困難デアルト思ヒマス、隨テ一箇月ノ料金幾ラト云フコトハ大體ノコトハ出ルニシテモ、キツチリシタ料金ハ出ニクイト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ付テハ業者ト需要者トノ間ニ色々問題ガ起リハシナカト思ヒマスガ、居ラレマスカ

○松隈政府委員 料金ガ檢針日ノ關係デ一箇月ニ満タナイ場合ガアツタリ、或ハ一箇月ヲ超ユルト云フヤウナ場合ノアリマスコトハ御示シノ通りデアリマス、此ノ場合ニ

ノ方カラモ禁止出來ルカト思ヒマスケレド
モ、稅ノ方デモ、サウ云フモノハ何カ特別
ノ稅金ヲ課シテ、都市ノ美觀ヲ損スルヤウ
ナ看板ハナクナルヤウナコトニ付テ何カ御
考ヘガ出來マセヌデセウカ、之ヲ一ツ御伺
ヒシテ置キマス

○松隈政府委員 只今御述ベニナリマシタ
廣告ハ、主トシテ廣告稅法ノ第一條ノ第二
種四號ノ建植看板、野立看板ニ類スルモノ
デアルト思フノデアリマスガ、是等ハ一坪
當リ年額二圓ト云フヤウナ相當ノ稅金デア
リマス、年稅デアリマスカラ毎年徵收サ
レルト云フコトニ依ツテ、從來ニ比シマス
レバ、相當負擔ガ課カツテ參リマスルカラ、
餘リ大キナモノヲ出スモノハ勢ヒ減ルト思
フノデアリマスルガ、唯自分ノ事務所營業所
ニ附屬致シマスルモノヲ課稅ノ對象ト致ス
ト云フコトハ、如何ニモ苛酷ノヤウニ思ハ
レマスルノデ、其ノ點課稅外ニ置イタノデ
アリマス、其ノ場合ニ於テモ面積ノ大キイ
モノハ課稅スルト致シマシテモ、出來ナイコ
トモナカツタノデアリマスルガ、ドノ程度
カラ切ルカト云フヤウナコトニ多少問題モ
アリマシタノデ、自分ノ事務所營業所ニ附
屬シテ、其ノ事務所ナリ營業所ナリデアル
コトヲ表示スルト云フコトガ主タル目的デ
アルモノニ付テハ、此ノ際強ヒテ課稅シナ
カツタ、斯ウ云フ程度デゴザイマス

○宇賀委員 最後ニモウ一ツ、新シイ法案

デスカラ競馬稅ノコトニ付テ御伺ヒシタ

イ、第二條ノ後ノ方ニ「購買者ニ拂戻スペ

キ金額ヨリ命令ヲ以テ定ムル金額ヲ」トア

リマスガ「命令ヲ以テ定ムル金額」ト云フノ

ハ、此ノ法案ハ稅ノ負擔者ト云フモノハ、

馬券ノ購買者ニアラズシテ、日本競馬協會

トカ或ハ鍛鍊馬ヲヤル所ノ公法人、ソレガ
負擔者ダラウト思ハレマスルガ、今ノ「命

令ヲ以テ定ムル金額ヲ控除シタル金額ニ付

之ヲ課ス」ト云フノデ、百分ノ二十トカ百

分ノ十トカ課シテ居リマス、全體ノ金額ガ

平年度四千九十六万圓バカリ課シテ居リマ

スルガ、私ハ此ノ四千万圓バカリノ中ノ何

ガ百分ノ二十、百分ノ十ヲ課シタ爲ニ平年

度四千万圓ニナル、其ノ基礎ハ御分リデシ

タラ其ノ數字ヲ一寸知ラシテ戴キタイ、百

分ノ七ヲ取ル其ノ金ガ幾ラニナルカ、百分

ノ四ヲ取ル金ガ幾ラニナルカ、百分ノ二十

ハ幾ラ、百分ノ十八幾ラニナルカト云フコ

トデス

○松隈政府委員 馬券稅算出ノ根據及ビ其

ノ結果ノ歲入見積額デアリマスガ、勝馬投

票券及び優等馬票ノ發賣金額ニ對シマスル

トデス

○松隈政府委員 馬券稅算出ノ根據及ビ其

ノ結果ノ歲入見積額デアリマスガ、勝馬投

票券及ビ優等馬票ノ發賣金額ニ對シマスル

トデス

○松隈政府委員 電氣瓦斯稅ニ關聯シテ一

寸簡單ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、電氣業者、

瓦斯業者ガ各家庭ノ使用量ニ對スル制限ヲ

致シテ居ルガ、其ノ超過シタモノニ對シテ

許シマス

○宇賀委員 私ノ質問ハ是デ終リマシタ

○勝委員長 小野君ヨリ宇賀君ノ質問ニ關

聯シテ質問ガアルサウデアリマスカラ之ヲ

スルガ

○小野(謙)委員 電氣瓦斯稅ニ關聯シテ一

寸簡單ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、電氣業者、

瓦斯業者ガ各家庭ノ使用量ニ對スル制限ヲ

致シテ居ルガ、其ノ超過シタモノニ對シテ

許シマス

○松隈政府委員 電氣、瓦斯ノコトハ所管省

ガ別ニゴザイマスカラ、詳シクハソチラカ

ラ答辯ヲシタ方ガ適當デアルカト思ヒマス

ガ、一應私ノ考ヘラ申上ゲテ置キマス、電

氣ノ使用規正ニ付キマシテハ、國家總動員

法ニ基ク電力調整令ニ依リ定メラレタ昭和

十六年十一月一日遞信省告示第二千二百九

號デ決メテアリマス、尙ほ消費規正ノ方法

デアリマスガ、定額制ニ依ツテ電力ノ供給

ヲ受ケマス場合ニハ、總容量ノ八割ト云ツ

タヤウナ規正ニナツテ居ルヤウデアリマス、

ソレカラ從量制ニ依ル電力ノ供給ヲ受ケマ

ス場合ニ於キマシテハ、御承知ノ通り住宅

用ト、事務所用、又ハ營業用、商店用、其

ノ他ト云ツタヤウニ分ケテ居リマスガ、一々

申上ゲルノモ細カ過ギマスカラ、住宅用

ニ付テ申上ゲマスレバ、取付燈數十燈以下

ノ場合ニハ二十五「キロワット」時ト致シマ

シテ、十燈ヲ超エマス場合ニ於キマシテハ、

超過燈數一箇ニ付キマシテ「キロワット」

時ヲ加ヘタモノ、斯ウ云フコトニナツテ居

リマスノデ、假ニ電燈ヲ十二燈付ケテ居ル

ノデ、一月二十七七「キロワット」時マデハ超

過料金ガナクテ宜イ、若シ二十七「キロワ

ット」時ヲ超エテ使フト云フコトニナルト、

ツト「キロワット」時ニ付キマシテ

テ

ウニ伺ツテ居リマスガ、其ノ第一ノ、法規

ニ根據ヲ持ツノカ、何等法規ニ根據ナシニ

シマシタ適中率ヲ使ヒマシテ超過拂戻金額

ヲ算出シマス、サウシマスト勝馬投票券ノ

分ハ九千五百万圓、優等馬票ハ六百万圓程

ニナリマス、合ハセテ拂戻金額トシテ課稅

標準ノ對象トナルモノガ一億百餘万圓デア

リマス、之ニ對シマシテ勝馬投票券ノ分ハ

百分ノ二十ト云フ稅率デアリマスン、優等

馬票ノ方ハ百分ノ十ト云フ稅率でアリマス

ノデ、此ノ方ノ稅額ハ千九百餘万圓、合ハ

セマシテ平年度ニ於ケル稅額ハ四千万圓、

斯ウ云フコトデゴザイマス

○勝委員長 小野君ヨリ宇賀君ノ質問ニ關

聯シテ質問ガアルサウデアリマスカラ之ヲ

スルガ

○宇賀委員 私ノ質問ハ是デ終リマシタ

○勝委員長 小野君ヨリ宇賀君ノ質問ニ關

聯シテ質問ガアルサウデアリマスカラ之ヲ

スルガ

○小野(謙)委員 電氣瓦斯稅ニ關聯シテ一

寸簡單ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、電氣業者、

瓦斯業者ガ各家庭ノ使用量ニ對スル制限ヲ

致シテ居ルガ、其ノ超過シタモノニ對シテ

許シマス

○松隈政府委員 電氣、瓦斯ノコトハ所管省

ガ別ニゴザイマスカラ、詳シクハソチラカ

ラ答辯ヲシタ方ガ適當デアルカト思ヒマス

ガ、一應私ノ考ヘラ申上ゲテ置キマス、電

氣ノ使用規正ニ付キマシテハ、國家總動員

法ニ基ク電力調整令ニ依リ定メラレタ昭和

十六年十一月一日遞信省告示第二千二百九

號デ決メテアリマス、尙ほ消費規正ノ方法

デアリマスガ、定額制ニ依ツテ電力ノ供給

ヲ受ケマス場合ニハ、總容量ノ八割ト云ツ

タヤウナ規正ニナツテ居ルヤウデアリマス、

ソレカラ從量制ニ依ル電力ノ供給ヲ受ケマ

ス場合ニ於キマシテハ、御承知ノ通り住宅

用ト、事務所用、又ハ營業用、商店用、其

ノ他ト云ツタヤウニ分ケテ居リマスガ、一々

申上ゲルノモ細カ過ギマスカラ、住宅用

ニ付テ申上ゲマスレバ、取付燈數十燈以下

ノ場合ニハ二十五「キロワット」時ト致シマ

シテ、十燈ヲ超エマス場合ニ於キマシテハ、

超過燈數一箇ニ付キマシテ「キロワット」

時ヲ加ヘタモノ、斯ウ云フコトニナツテ居

リマスノデ、假ニ電燈ヲ十二燈付ケテ居ル

ノデ、一月二十七七「キロワット」時マデハ超

過料金ガナクテ宜イ、若シ二十七「キロワ

ット」時ヲ超エテ使フト云フコトニナルト、

ツト「キロワット」時ニ付キマシテ

テ

ハ、慥カ東京電燈ナラバ一「キロワット」時十六錢ノモノガ五十錢ニナルト云フヤウナ計算ニナルト思ヒマス、其ノ場合ニ於キマシテ、住宅ノ場合ニ於キマシテ出来レバ住シテ居ル人數其ノ他ヲ考慮ニ入レテ制限ヲ致スコトガヨリ完全ナモノダト思フノデアリマスガ、大體ハ取付箇數デ行ツテ居ルヤウデアリマス、取付箇數ガ多イヤウナ家ハ大邸宅デアリ、隨テ相當ノ能力ガアル、斯ウ云フ風ニ見テ居ルノダト思ヒマス、邸宅ノ廣サノ外ニ、大キイ邸宅必ズシモ大勢住シテ居ル譯デナイカラ、住ンデ居ル人數モ或る程度考慮ニ入レルト云フコトハ、理論トシテハ正シイカモ知レヌト思ヒマスガ、實際問題トシテハマダソコマデノ消費規正ニハナツテ居ラナイヤウデス、瓦斯ノ方ニ付テハ是程ハツキリシタ告示ノヤウナモノハ出テ居ラナイカニ承知致シマス。

○小野(謙)委員 サウスルト瓦斯ノ方ハ斟酌ガ出來ルト云フコトニナリマスカ

○松隈政府委員 瓦斯ノ方ハ、監督官廳デアリマス商工省ノ方カラ瓦斯會社ニ通牒ヲ出シテ實行シテ居ルノデアリマシテ、此ノ消費ノ規正方法ハ、一般的規正方法ト、家庭瓦斯ノ規正方法ト大體二通りニ分レテ居ル

ヤウデアリマス、是モ詳シク申上ダマスト細カ過ギマスカラ、先づ東京アタリノコトヲ申上ダマスト、家庭用瓦斯割當量ハ、世五熱位ト云フコトニナツテ居リマス、立方量ト云フモノガ違ツテ居リマス、例ヘバ五人ノ家庭デアリマスト、一世帶當量リ一〇・

是ガ其ノ家庭ニ於テ消費シ得ル量ノ最高限

ト云フコトニナツテ居リマス、右ノ標準ヲ超過シテ消費致シマシタ場合ニ於テハ、

爾後瓦斯會社ニ於テ超過量ニ相當スル消費運用カラ申シマスト、特ニ惡質ナルモノデナイ限り停止ハ致シテ居ラヌト云フヤウナ

實情デアリマス

○勝委員長 次ニ藤本君ノ發言ヲ許シマス

○藤本委員 私ハ二二三ノ問題ニ付キマシテ極メテ簡單ニ御尋ネ致シテ見タイト思ヒマス、其ノ第一點ハ物價政策ニ「タイアップ」シテ增稅政策ヲ更ニヨリ多く考へテ見ナイカ

ト云フ點デアリマス、申スマデモナク今回ノ增稅政策ノ目的ハ浮動購買力ヲ吸收致シ、

更ニ消費ヲ抑制スルト云フ點ニ重點ノ一ツ

ガアルノデアリマスガ、事變以來巨額ノ財政運營ノ結果ト致シマシテ、國民購買力ハ順次增大ヲ致シテ居リマス、又大消耗戰遂行ノ當然ノ結果ト致シマシテ物資ノ供給ハ

次第ニ遞減致シテ居リマス、併シ如何ニ購買力ガ遞增致シマシテモ、若シ消費規正ト

云フコトガ完全ニ行ハレテ居リマスナラバ

シテ是ガ爲ニハ、先づ其ノ一つノ方策トシテ今マデノ如キ一律的ナ低物價政策ヲ止揚

致シマシテ、生活ノ必需品ハ別デアリマスガ、贊澤品ニ對シテハ勿論、非必需品或ハ

不急不要ノ商品トカ物資、或ハ好マシカラザル消費ニ向フ物資ニ對シマシテハ高物價

政策ヲ以テ臨ムト云フコトガ必要デアリマス、而シテ高物價政策ヲ以テ臨ム結果ト致

シマシテ茲ニ利潤ノ増大ヲ來シマスガ、ソレヲ不急不要ノ物資ヲ造ル業者又ハ其ノ關係者ニノミ私的利潤トシテ取得セシメルノ

デナクシテ、直接、間接ニ國家ガ之ヲ取得シ得ルヤウ、茲ニ增稅政策ヲ物價政策ニ「タイアップ」シテヤル必要ガアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ物價局長官

デゴザイマシテ、低物價政策ト申シマシテモ、是ハ戰時經濟ノ遂行上ノ一つノ手段デアリマシテ、大體ニ於テ直接狙ツテ居リマ

ハヤハリ消費規正ノ徹底ヲ缺キ、又ハ徹底所ノ戰時必要資材ノ生産増強、此ノ二ツノコトヲ狙ツテ低物價政策ヲヤツテ居ルノ

テアリマス、其ノ關係カラ申シマシテモ、

シテ、是非値段ガ低クナケレバナラヌト云フコトハナイト思ヒマス、唯御話ノ通り左

様ナ不急不要品ニ付テノ價格統制ヲ緩メマ

スト、左様ナ不要不急品ノ生產ニ從事スル人ニ對スル報償或ハ資本ニ與ヘラレル利潤

ト云フヤウナモノガ、戰時ニ必要ナル物資或ハ生活必需物資ノ生產ニ從事スル勞力ヤ

或ハソレニ用ヒラレル資本ニ對スル利潤ト云フヤウナモノヨリモ多イコトニナリマシ

テ、是ハ又結局ニ於テ好マシカラザル結果ニ陥ル、左様ナ意味ニ於キマシテ、結局必需品以外ニ不急不要ノ品物ニ付テモ、ヤハ

リ價格ニ付テ統制ヲ取ラケレバナラヌコトニナツテ來ルト私ハ思フノデアリマス、

左様ナコトデアリマスノデ、御話ノ通り左様ナ不急不要品ニ付テノ價格ガ、徵稅其ノ

他ノ方法ニ依ツテ國庫ニ納メサセルヤウナ

ヤリ方デ値段ガ高クナルト云フコトハ一向差支ヘナイ、是ガ先般來各種ノ間接稅ノ增

徵ニ付キマシテモ、大藏當局ノ各種ノ御案ニ對シマシテモ私ノ方トシテ全幅的ノ贊意ヲ

以テ御協力ヲ致シタ事情デアリマス、其ノ

點全ク御同感ニ存ズルノデアリマス

○松隈政府委員 只今ノ御尋ネニ對シマシテ、稅ノ方カラ見タ見解ヲ一應御答ヘ申上

ゲテ置キタイト思ヒマス、物ニ依ツテ高物價政策ト云フモノヲ執ルト云フコトノ適否

ニ付キマシテハ、只今物價局長官カラ御答ヘノアリマシタ通リデアリマスガ、間接稅

ノ對象トシテ課稅ヲ致シテ居リマスルモノ

ハ、多ク消費金額ガ課稅ノ對象ニナツテ居リマスルノデ、消費ノ好マシカラザル部面ニ對シテハ、或ル程度價格ヲ引上げルト云フ接稅モ増シテ參リマスルノデ、國民ノ其ノ方面ノ消費ニ對シマシテハ、租稅ニ國家ニ貢獻スルト云フ部面モ比例的ニ増シテ參ル譯ニアリマス、尙ホ高物價ガ或ル方面ニ認メラレマシタ結果ト致シマシテ、生產販賣シテ居ル方面ニモ利益ガ増大シタ場合ハドウナルカト云フコトデアリマスルガ、此ノ所得又ハ純益ニ對シマスル課稅ノ方面ト致シマシテハ、大體所得ナリ純益ナリノ大キサニ依ツテ負擔ガ増シテ行クヤウチ結果ニナリマスルノデ、或ル意味デサウ云フコトノ爲ニ利益ガ増シタ場合ニハ、ヤハリ其ノ方面ノ純益、所得ニ對スル課稅モ重クナツデ、ソレダケノ利得ヲ生產者ナリ販賣者ナリガ直チニ懷ロニ入レルコトノナイヤウニ稅ハ出來テ居ル積リデアリマス、更ニ一層之ヲ徹底セシメテ、國ノ物價政策ニ依ツテ特ニ値段ヲ高メタモノデアル、其ノ差額力來タ利益デアルカラ、之ニ對シテ別ニ物ニ依リマシタラモツト稅ガ課カツテモ宜トシト云フ位ノコトヲ實ハ内々大藏當局トシイト云フ居ツタヤウナ次第デアリ特別ノ稅ヲ課ケルト云フ所マデハ今ノ所ナツテ居リマセヌガ、是ハ將來各種統制經濟ノ政策ガ徹底強化サレテ、其ノ方面ノ計算ト云フモノガ明瞭ニナツテ參ルト云フコトニナレバ、稅率ノ盛り方ナンカニ付テハモウ一段ト工夫サレル所ガアルカト思ヒマス、今日其ノ稅金ハ利益ノ大小ニ依ツテ課スルダケデアリマシテ、由ツテ生レテ來タ原因マデハ探究致シテ居ラナイコトニナルノデアリマス

○藤本委員 今物價局長官ノ御心配ニナラレマシタ點ハ其ノ對策トシテ大藏當局カラ御述ベニナツタノデアリマスガ、尙ホ併シ譯ニアリマス、尙ホ高物價ガ或ル方面ニ認メラレマシタ結果ト致シマシテ、生產販賣シテ居ル方面ニモ利益ガ増大シタ場合ハドウナルカト云フコトデアリマスルガ、此ノ所得又ハ純益ニ對シマスル課稅ノ方面ト致シマシテハ、大體所得ナリ純益ナリノ大キサニ依ツテ負擔ガ増シテ行クヤウチ結果ニナリマスルノデ、或ル意味デサウ云フコトノ爲ニ利益ガ増シタ場合ニハ、ヤハリ其ノ方面ノ純益、所得ニ對スル課稅モ重クナツデ、ソレダケノ利得ヲ生產者ナリ販賣者ナリガ直チニ懷ロニ入レルコトノナイヤウニ稅ハ出來テ居ル積リデアリマス、更ニ一層之ヲ徹底セシメテ、國ノ物價政策ニ依ツテ特ニ値段ヲ高メタモノデアル、其ノ差額力來タ利益デアルカラ、之ニ對シテ別ニ物ニ依リマシタラモツト稅ガ課カツテモ宜トシト云フ位ノコトヲ實ハ内々大藏當局トシイト云フ居ツタヤウナ次第デアリ特別ノ稅ヲ課ケルト云フ所マデハ今ノ所ナツテ居リマセヌガ、是ハ將來各種統制經濟ノ政策ガ徹底強化サレテ、其ノ方面ノ計算ト云フモノガ明瞭ニナツテ參ルト云フコトニナレバ、稅率ノ盛り方ナンカニ付テハモウ一段ト工夫サレル所ガアルカト思ヒマス、今日其ノ稅金ハ利益ノ大小ニ依ツテ課スルダケデアリマシテ、由ツテ生レテ來タ原因マデハ探究致シテ居ラナイコトニナルノデアリマス

○藤本委員 今物價局長官ノ御心配ニナラレマシタ點ハ其ノ對策トシテ大藏當局カラ

御述ベニナツタノデアリマスガ、尙ホ併シ譯ニアリマス、尙ホ高物價ガ或ル方面ニ認メラレマシタ結果ト致シマシテ、生產販賣シテ居ル方面ニモ利益ガ増大シタ場合ハドウナルカト云フコトデアリマスルガ、此ノ所得又ハ純益ニ對スル課稅モ重クナツデ、ソレダケノ利得ヲ生產者ナリ販賣者ナリガ直チニ懷ロニ入レルコトノナイヤウニ稅ハ出來テ居ル積リデアリマス、更ニ一層之ヲ徹底セシメテ、國ノ物價政策ニ依ツテ特ニ値段ヲ高メタモノデアル、其ノ差額力來タ利益デアルカラ、之ニ對シテ別ニ物ニ依リマシタラモツト稅ガ課カツテモ宜トシト云フ位ノコトヲ實ハ内々大藏當局トシイト云フ居ツタヤウナ次第デアリ特別ノ稅ヲ課ケルト云フ所マデハ今ノ所ナツテ居リマセヌガ、是ハ將來各種統制經濟ノ政策ガ徹底強化サレテ、其ノ方面ノ計算ト云フモノガ明瞭ニナツテ參ルト云フコトニナレバ、稅率ノ盛り方ナンカニ付テハモウ一段ト工夫サレル所ガアルカト思ヒマス、今日其ノ稅金ハ利益ノ大小ニ依ツテ課スルダケデアリマシテ、由ツテ生レテ來タ原因マデハ探究致シテ居ラナイコトニナルノデアリマス

○藤本委員 今物價局長官ノ御心配ニナラレマシタ點ハ其ノ對策トシテ大藏當局カラ

御述ベニナツタノデアリマスガ、尙ホ併シ譯ニアリマス、尙ホ高物價ガ或ル方面ニ認メラレマシタ結果ト致シマシテ、生產販賣シテ居ル方面ニモ利益ガ増大シタ場合ハドウナルカト云フコトデアリマスルガ、此ノ所得又ハ純益ニ對スル課稅モ重クナツデ、ソレダケノ利得ヲ生產者ナリ販賣者ナリガ直チニ懷ロニ入レルコトノナイヤウニ稅ハ出來テ居ル積リデアリマス、更ニ一層之ヲ徹底セシメテ、國ノ物價政策ニ依ツテ特ニ値段ヲ高メタモノデアル、其ノ差額力來タ利益デアルカラ、之ニ對シテ別ニ物ニ依リマシタラモツト稅ガ課カツテモ宜トシト云フ位ノコトヲ實ハ内々大藏當局トシイト云フ居ツタヤウナ次第デアリ特別ノ稅ヲ課ケルト云フ所マデハ今ノ所ナツテ居リマセヌガ、是ハ將來各種統制經濟ノ政策ガ徹底強化サレテ、其ノ方面ノ計算ト云フモノガ明瞭ニナツテ參ルト云フコトニナレバ、稅率ノ盛り方ナンカニ付テハモウ一段ト工夫サレル所ガアルカト思ヒマス、今日其ノ稅金ハ利益ノ大小ニ依ツテ課スルダケデアリマシテ、由ツテ生レテ來タ原因マデハ探究致シテ居ラナイコトニナルノデアリマス

○藤本委員 今物價局長官ノ御心配ニナラレマシタ點ハ其ノ對策トシテ大藏當局カラ

ゲルニ當リマシテ、直チニ此ノ問題ニブツカツテ參リマシタ、之ヲ如何ニ解決スルカニ苦心致シタノデアリマスルガ、要スルニ御話ノ如ク株式ハ生産力擴充ノ爲ノ自己資本トシテ大切ナモノデアリマスルノデ、株式ニ不當ノ壓迫ヲ加ヘルト云フコトモ時局下避ケネバナラナイコトデアリマス、一方必要ナル資金ノ蓄積、公債、社債ノ消化ト云フコトモ、戰時下ニ於キマシテ非常ニ戰時金融ノ運營上必要ナコトデアリマス、ソコデドヴシテモ其ノ間ヲ調和的ニ縫ツテ行クヨリ外ニ方法ガナカツタノデアリマス、ソコデ今回綜合所得稅ノ稅率ハ平均二割方上ツタノデアリマスルガ、其ノ場合ニ於キマシテ、源泉選擇ヲ選ンダ場合ノ稅率ヲ百分ノ十五デアルノヲ幾ラニスルカト云フコトガ一ツノ問題デアツタノデアリマスルガ、之ヲ少クトモ百分ノ二十五以上ニシナイト株式ニ對シテ不利デアル、ソレデハ株式ヲ持ツ者ガ大所得者ニナルニ從ツテ不利ニナツテ、大所得者ノ株式投資熱ト云フモノヲ非常ニ冷却スル虞ガアル、斯ウ云フコトカラ致シマシテ大體現在ニ於キマシテモ、株式ト國債トハ所得ノドノ階層カラ逆轉ニナルカ、別ノ言葉デ申シマスルト、所得ガ段段大キクナルニ連レテ、株式ノ方ハ源泉選擇ヲ認メテ居リマスルカラ、所得ガ大キクナルニガ高クナツテ、稅引利廻ト云フモノガ少クナツテ來ル、所ガ國債ノ方ハ源泉選擇ヲ認メト國債ト云フモノハ、或ル一點ニ來マスルトソコデ「クロス」シマシテ、ソレカラ先ノ大所得者ハモモ株式ヲ持ツテハ國債ヨリ

モ税利回りガ下ルカラ損ダ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、八万圓ヲ超エル人ハ表面利回五分五厘ノ株式ヲ持ツテモ、表面利回三分六厘五毛ノ國債ヲ持ツヨリモ、綜合累進課税ノ結果手取ガ却ツテ不利ニナル、斯ウ云フ數字ガ出テ居リマス、其ノ不利ニナル割合一厘二毛八朱、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、今回モ大體八万圓ノ所デ株式ヲ持ツコトガ不利ニナルト云フ其ノ限界分點ハ維持シタイ、斯様ニ考ヘタノアリマス、ソコデ源泉選擇ノ税率ヲ百分ノ一十五ニ致シマスレバ、ヤハリ八万圓ノ所カラ株式ヲ持ツノガ、國債ヲ持ツヨリモ税引利廻ニ於テ不利ニナル、隨テ特ニ是ガ爲ニ大所得者ガ今マデヨリモヨリ一層株式ヲ持ツコトヲ不利ニサレタ、斯ウ云フコトヘナイト二十五ニシタ爲ニ源泉選擇ヲシタ方ガ宜イカ、綜合課税ヲ受ケタ方ガ宜イカト云フ點コトニ相成ツテ居リマス、尤モ其ノ百分ノ百ハ一段階上リマシテ、是ハ此ノ方面カラ言フト、現在ハ三万圓ヲ超エル人ハ綜合課税ヲ受ケルヨリモ、源泉デ百分ノ十五ノ課税ヲ受ケル、即チ源泉選擇ヲシタ方ガ有利アリマス、今回ハ百分ノ二十五ニ致シマシタ爲ニ、三万圓デハナクシテ、モウ一段ノ五万圓ヲ超エルニ至ツテ初メテ綜合課税ヲ選ブヨリモ源泉課税ヲ選擇シタ方ガ宜イ、ソコハ一段階上リマシテ、ソレダケノ方ニ依レバ綜合課税ノ範囲ヲ擴ゲタ、詰リ本則ノ方ガ擴ガツテ例外ノ方ガ狹マツタ、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、ソコマデ致シテ大體株式ト國債トガ逆鞘ニナル點、ソレカラ株式ト社債方逆鞘ニナル點、是ハ四

債ノ場合ト達ヒマシテ、少シ下ノ五万圓ノ逆鞘ニナル點ガ出テ參リマス、ソレカラ株式ト定期預金ガ逆鞘ニナル點、是ハ大體少シ上リマシテ、十二万圓ノ所位デ出テ居リマスガ、ソレノ現狀ハ維持シテ居ル、斯ウ云フコトデアリマスノデ、今回ノ綜合所得稅ノ引上、源泉選擇ノ稅率ノ引上ヲ通じテ見マスレバ、現在ヨリ以上ニ株式ニ不利ヲ與ヘテ居ルト云フコトハ言ヘナイト思フノ方法トシマシテハ、別ニ提案ニナツテ居リマス通リ、現在ハ分類所得稅ヲ課シマズ際ニハ、株式配當カラ一割控除シテ稅率ヲ適用シテ居リマス、所ガ綜合課稅ヲスルニ當リマシテハ、其ノ分類所得稅ヲ課稅スル際ニ、控除ニ依ツテ稅率ヲ輕減シテ置キマシタ、其ノ稅金ト云フモノヲ加算シテ徵收スルコトニナツテ居リマスガ、此ノ加算ガアリマスコトハ株式ヲ不利ナラシメルノデ、少クトモ其ノ加算ダケハ取ツテ計算シマセヌト、先程ノ「クロス」ノ關係ニモ響イテ來マスノデ、其ノ加算ハ廢止スルコトニ致シマシタ、尙ホ更ニ時局産業等デ新規ノ株式拂込ヲ徵收スルニ當リマシテ、拂込徵收ガ困難ト認メラレルヤウナ事情デアリマスコトハ相當注意シナケレバナリマセヌノデ、從來デ申シマスト、株式配當ニ對スル分類所得稅ニ之ヲ設ケルト云フコトハ、手續カラ言フト面倒デヤリタクナイ、斯ウ云フコトモ言ヘルノデアリマスガ、特ニ時局産業等デアリマシテ、新規拂込ニ出來ルダケ支障付キマシテハ、稅法改正後ノ拂込ノ分ニ對スル分類所得稅ハ、一般ノモノヨリモ二ダケ下ダマシテ、新規拂込ニ出來ルダケ支障付キマシテハ、稅法改正後ノ拂込ノ分ニ對

ニ資本が集マルヤウニ工夫シテ居リマス、
隨テ新規拂込ノ配當金ニ對スル課稅ノ方カ
テ申シマスト、先程申シマシタ逆鞘ノ出ル
點是ハ「ボイント」ハ動キマセヌケレドモ、
割合ハ現在逆鞘ニナツテ居ル、其ノ逆鞘ノ
利子ト幾ラモ違ハナイ、殆ド同ジ位ノ所マ
デハ來テ居ル、斯ウ云フ風ナ事情ニナツテ
居リマス

○藤本委員 財產稅ニ付キマシテハ既ニ御
尋ネガアソタヤウデアリマスガ、財產稅モ
一ツノ考ヘデアリマスガ、私ハ財產增加稅
ニ付テ御尋ネシタイト思ヒマス、財產權ノ
移轉ガ相續稅デアル、サウスルト財產價格
ノ異動ニ對シテ、財產增價稅ト云フモノガ
アツテモ宜カラウト思フノデアリマス、殊
ニ事變下ニ於キマシテ、財產價格ガ非常ニ
増加致シマシテ、茲ニ富ノ分配ノ跛行性ニ
對シテ更ニ拍車ヲ掛けテ居リマス、又時局
下淘ニ好マシカラザル所ノ換物運動ト云フ
モノモ盛ニ行ハレテ居リマス、斯ウ云フ
コトヲ見マスルト、茲ニ若シ財產增價稅ト
云フモノヲ創設致シマスルナラバ、物價ノ
騰勢モ抑ヘ得ル、或ハ富ノ分配ノ跛行性ヲ
是正スル社會政策的ノ意味モ現ハレテ來ル、
或ハ又其ノ課稅物件ノ財產ヲ調査スルコト
カラシテ、統制經濟ニナケレバナラヌ所ノ
資料モ出テ來ル、或ハ換物運動モ抑ヘラレ
ルト云フヤウナ長所ガアルト思フノデアリ
マス、ソレハ課稅技術上非常ニ骨ノ折レマ
スコトハ能ク分リマスガ、併シ斯ウ云フ際
ニ財產增價稅ノ創設ト云フコトヲ御考ヘナ
サルコトガ、戰時體制下ニ於ケル一ツノ時
局的要請デハナイカト思フノデアリマス、
此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマス

別ノ擔稅力ヲ認メ課稅スペシト云フ議論ハ、確カニ一ツノ傾聽スペキ御意見デアルト思フノデアリマス、從來是ガ研究サレツツ行ハレマセヌデシタ主ナル點ハ、ヤハリレマシタモノデアリマスルナラバ、ハツキリソコニ處分價格、即チ換價價格ガアリマスケレドモ、處分ヲシナイデ持ツテ居ル間ニ其ノ價格ヲ幾ラナリト認定スルカト云フコトニ付キマシテハ、相當困難ガアリマシ紛議ガ絶エナイコト相成ルト思ヒマシテ、實行ヲ差控ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、處分サヘ致シマスレバ、現ニ船舶、鑛業權ノヤウナモノヲ移轉シマシタ場合ニ課稅シテ居リマスガ、今回ハソレニ附加ヘテ、更ニ不動產ノ賣買ヲ致シマシタ場合ニ於キマシテモ、結局増差額ニ當ルモノハ課稅スルト云フヤウナ所マデ範圍ヲ擴ゲテ參リマシタ、尙ホ株式等ニ付キマシテハ、公定價格ガアルモノガ相當多イノデアリマスカラ、或ル程度財產ノ增價格ト云フモノノ判定ガ出來ルノデアリマスガ、此ノ方面ニ於キマシテハ、株式ガ餘リ價格ノ昂騰若シクハ低落致シマスルコトハ、必要ナル産業資金ノ調達ニモ惡影響ガアリマスノデ、政府トシテハ寧ロ最高最低價格ヲ抑ヘテ、或ル一定ノ値幅ノ範圍内ニ於テ動クコトヲ望ミマシテ、ノデハナイカト思ハレルノデアリマス、殘ル所ト致シマシテハ、書畫、骨董ト云ツタヤウナモノニナツテ參ルノデアリマス、現ニ一部ノ購買力ハ其ノ方面ニ動イテ居ルヤ

付キマシテハ、先般ノ物品稅ニ於テモ、稅率ヲ一割カラ三割マデモ上ガタ點モアリマスシ、是ノ課稅ヲルト評價ノ問題ガ非常ニ面倒デアリマスノデ、大體現在ノ所デハ課稅スルト云フコトハ、理論的ニハ肯定サレマシテモ、實行トナルトマダ容易ニ決心ガ付カナイヤウナ次第デアリマス
○藤本委員 次ニ現在ノ我ガ國ノ租稅ノ體系ハ自由經濟ノ基礎ノ上ニ立ツテ居ルノデアリマスガ、事變以來平時自由經濟カラ、戰時統制經濟ニ移行致シ、其ノ結果トシテ、例ヘバ自由經濟時代ニ於キマシテハ、課稅標準ハ主トシテ擔稅力ノ大小ト云フコトヲ狃ヒ、而シテ擔稅力ガ如何ナル用途ニ向フカト云フコトハ問題デナカツタノデアリマスガ、併シ統制經濟ノ今日ニ於キマシテハ、例ヘ其ノ擔稅力ガどう云フ使途ニ向フカト云フコトガ重大ナ關心事ニナツタノデアリマス更ニ又自由經濟時代ニ於キマシテハ、例ヘバ大衆課稅トナリマスル消費稅、其ノ他間接稅ハ非常ナ惡稅ト致シマシテ、成ルベクレタト云フ例モアルノデアリマス、併シ今日ハサウデハナイノデアリマシテ、如何ニ大衆課稅ニナリマシテモ敢然課稅又ハ增稅ヲ致サネバナラヌト云フ時代ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ是等ノ時局的要請ニ對シマシテハ、御當局ノ練達堪能ナ課稅技術上ノ方途ヲ以テシマシテモ、幾ラカ是ガ遂行へ出來マスケレドモ、何トシテモ自由經濟ヲ基礎ニシタ稅制ノ體系ト云フモノヲヤリ變ヘルト云フノデナケレバ、其ノ圓滑

○松隈政府委員 従來ノ稅制ノ對象ト致シ
テ粗ツテ居リマスル所得、純益、利得ト云
ツタヤウナモノハ、多ク自由經濟ノ下ニ生
レテ來タモノデアル、隨テサウ云フモノヲ
狙ツテノ稅制デハナイカト云フヤウナ御疑
問ハ確カニ一面當ツテ居ルヤウニ思フノデ
アリマス、自由經濟カラ、段々統制經濟ニ
移ツテ參ルトスレバ、稅制ノ上ニ於キマシ
テモソレニ對應スル所ノ措置ガ講ゼラレナ
ケレバナラヌ、隨テ其ノ見地カラ稅制改正
ヲ考慮スベキデハナイカト云フ御意見ニ對
シマシテハ、全然同感デゴザイマス、最近
ニ於キマシテモ漸次其ノ傾向ハ帶ビテ來ツ
ツアルノデアリマシテ、從來ノ擔稅力ノ點
カラ見タ負擔公平論カラ言ヘバ、或ハ如何
カト思ハレマスル場合ニ於キマシテモ、統
制經濟ノ必要上、ソコニ別ノ觀點カラ稅法
ニ變更ヲ加ヘル點ハ相當取入レラレテ居ルノ
デアリマス、一例ヲ舉ゲマスルナラバ、從
來ハ資產所得ト致シマシテハ、株式配當デ
アリマセウト、或ハ公債、社債、預金ノ利
子デアリマセウト、不動產ノ所得デアリマ
セウト、差別ヲ付ケズニ、同ジ稅率ヲ以テ
參ツタノデアリマス、所ガ今回ノ分類所得
稅ノ改正稅率ヲ御覽ニナルト御分リニナリ
マスル通り、不動產所得ニ對スル稅率ハ百
分ノ十六ニナツテ居リマス、所ガ配當利子
所得ニ對スル稅率ハ、公債、社債ハ別デア
ルト思フノデアリマス、此ノ點ヲ一つ御
尋ネ致シマス

參リタイト思フノデアリマス、例ヘバ、今ノ營業所得、即チ事業所得ノ甲種デアリマス
スガ、此ノ課稅ヲシ、及ビ之ニ對シテ營業人ノ力量、手腕ニ依ツテ自由ニ儲ケルコトガ出來ル、營業所得ハ資產ト勤勞ノ共働所
得デアルケレドモ、個人ガ自由ニ營業デ儲ケテ相當ノ利益ヲルト云フ所ニ特ニ擔稅力ヲ認メテ、事業所得ト云フモノハ勤勞所得ヨリモ高率ノ負擔ヲシテ居ル、ソレカラ
所得稅ノ外ニ營業稅モアル、斯ウ云フコトデアリマスガ、段々營業ガ統制サレテ、利潤ト云フモノガ少クナツテ、殆ド個人ノ自由意思デ營業ハ出來ナイ、會社ノ勤人ト同ジト云フヤウナ狀況ガハツキり出テ參ルト云フコトニナリマスレバ——今日デハマダソコマデ行ツテ居リマセヌ、隨テ今日直ニ甲種ノ事業所得ノ稅率ヲ下ゲルトカ、或ハ營業稅ニ付テ變更ヲ加ヘルト云フ所マデハ行ツテ居リマセヌケレドモ、ヤハリ將來ノ問題トシテハ、營業ノ統制經濟カラ來ル變更等トモ睨ミ合ハセテ、斯ウ云フ點モ研究シテ參ル必要ハアルト考ヘテ居ル次第アリマス○藤本委員 マダ御尋ねシタ伊點ガアリマスガ、是ハ大藏大臣ニ御尋ねシタイト思ヒマスカラ、私ハ此ノ程度デ止ヌマヌ一人ヤリマスカ、ドウシマスカ

○勝委員長 丁度時間ガ來マシタガ、モウ

○森田(福)委員 今ノ藤本君ノ質問ニ關聯シテ、一寸簡單ニ聽イテ見タイコトガアルノデス——只今主稅局長ノ御答辯ノ中ニ、
臨時利得稅ノ申ノ、鑛業權ト船舶ニ課稅シテ居ツタノヲ、今度ハ不動產ヲ賣ツタモノヲ加ヘルト云フコトニナツテ居ルノデアリ

マス、所ガ一方ニハ、株式ノ取引所デ取引ヲシタ清算取引ニ依ル所得ニハ課稅ヲスルヤウニナツタノデアリマスガ、場外ノ取引ノ分ニ對スル實物取引ニ依ル所得ニハ課稅サレテ居ラスト思ヒマス、所ガ今ノ不動産、土地建物ノ賣買ニ對スル利得ニ課稅ヲスルトスレバ、御承知ノ通リニ、土地建物會社ガ今日マデ相當銷却ヲシテ居ツテ、土地建物トシテ賣ルト清算所得ニ稅ガ課カルカラ、會社ヲ株式グルミ賣ツテシマフ、船舶亦然リ、船舶デ賣買スレバ臨時利得稅ガ大變課カルカラ、船舶デ賣買ヲ行ハズニ、會社ノ株券グルミ賣ツテシマウテ、五十圓ノ株ガ百圓、二百圓、三百圓ト云フ取引ガ出來テ居ルモノニ對シテ、何トカ處置ヲ執ラレルデアラウト考ヘテ居ツタノデアルガ、今度ノ改正ニ當ツテ之ニハ更ニ考慮ヲ加ヘテ居ラレヌガ、何カ事情ガアツテ、此ノ方面ニ考慮ヲ加ヘナカツタノデアルカト云フ當局ノ御考ヘラ聽イテ見タイ

株式清算市場ニ於キマスル取引デアリマスルナレバ、是ガ捕捉ハ極メテ容易デアリマス、同時ニ實物市場ノ株式ノ實物ノ賣買デアリマスレバ、是モ大體捕捉ガ出來ルニアリマス、所ガ市場外ニ於キマスル株式ノ賣買デアリマスト、之ヲ調査捕捉スルコトガ比較的困難デアリマス、其ノ結果ト致シマシテ、株式市場デ取引ヲスレバ課税ニナリ、市場外ニ出テヤレバ捕マルカモ知レヌ、斯ウ云フヤウナ感ジヲ持チマスト、株式市場ニ於テ取式ヲスル者ガ、其ノ心理的影響ニ依ツテ少クナル、斯ウ云フコトガ心配サレマシテ、折角株式市場ヲ設ケマシテ、一定ノ賣買數ト云フモノヲ集メテ、公定値段ヲ作ラウトシテ居ル方面ニ差支言ハガアツテハドウカト云フ所カラ、稅ノ理窟カラ言ヒマスレバ、苟クモ株式ノ移轉ニ依リマシテ生ジタ利得デアルナラバ、課稅ノ所得ニ對シテノミ課稅スルコト致シマシテ、暫ク實物ノ賣買ニ依ル課稅ハ見合セテ、狀況ヲ見ヨウ、斯ウ云フコトニナツクノデアリマス、絕對ニ課稅スベカラズト云フノデハナクテ、課稅ハシテモ差支ヘナイノデアルケレドモ、兩方一度ニヤルト云フコトハ困難ノ事情ガアリ、急激ノ變化ヲ興ヘテモ困ルカラ、實物ノ方ハモウ少シ課稅ヲヲ研究シテ見ル、考慮シテ見ル、斯ウ云フコトデ延バサレタト云フヤウナ形デアリマス

土地建物會社、是ハモウ現物デ賣買ヲヤレバ臨時利得稅ヲ取ラレルカラ、物ヲ賣ルト同ジコトデ株式括メニ賣ツテシマフ、ソレヲ是カラ研究シテ行ツテ居ル間ニ——今ノ事變ノ爲ニ上ツテ來テ居ルモノガボツツ値ガ下ツテ居ルノデアルカラ、モウ次ニハ其ノ必要ハナイヤウニナツテ來ルカモ知レヌ、既ニ昨年ノ夏頃カラハ此ノ炭礦ノ賣買、船舶ノ賣買——土地建物ハサウデナカツタ、ソレハ是カラデアリマス、此ノ二ツノモノニ付テハ株式括メノ賣買ノ方ガ殆ドデアル、船舶デ賣買、鑛山デ賣買ヲヤルノハ殆ドソレデアツテ、額面デ賣買ガ行ハレルノハ常ナ高率ナ利益ヲ得テ、臨時利得稅モ所得稅モ何ニモ課カラズ、五十圓ノ株券ガ二百圓、三百圓、四百圓デ賣買ガ行ハレルノハ課稅ヲスル公平ナ立場ヲ守ル上カラ言ツテモ、私ハ此ノ不公平ヲ是正スル必要ガアルト思フ、此ノ度ハソレニ對スル何カ對策ガ出ルモノニアラウト、去年ノ關係カラ私ハ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、單ニ課稅ガ一面倒デアルカラト云フヤウナコトデ、大キシマフト云フコトハ宜イデセウカ、私ハ具體的ニ知ツテ居ル、自分ノ所デ從來營業ノ支出ノ部デ可ナリ銷却ヲシテ、行詰ツテシマツテ、銷却ノシャウガナイ、銷却ノ仕方ガナイヤウニナツテ居ルカラ、物デハ賣ラズ株デ賣ツテシマフ、五十圓ノ株券ガ三百圓、四百圓、四百五十圓ト云フコトデ取引サレテ、ソツクリ其ノ儘デ行ツテ居ル、ソレハ數十万圓、數百万圓ノ所得ヲ得テ居ルケレドモ、一錢一厘ノ課稅モ受ケヌ、是ハ一方ニ船舶ト鑛山ノ臨時利得稅ヲ個人ノモノダケニ決メタカラソンナコトニナツテ居

ル、小サナ課稅ヲ漁ルコトモ宜イガ、廣告
稅トカ電氣瓦斯稅ヲ漁ルト云フコトヨリ

モ、此ノ方面ノ大キナ問題ヲ徵稅方面倒ダ

ト云フコトデ逃ガシテハ、私ハ公平ノ見地

ニ立ツテヤル政府ノヤリ方トハ思ヘヌ、議

論ニナルカラソレ以上ハヤラヌガ、私ノ番
ニナツタ時ニ詳シク聽ク積リデアリマス、

會社部ノ方デハ分ツテ居ル、中ニハ株券ノ

賣買ヲ許可ヲ受ケテヤツテ居ル者ガアルカ

ラ、今日ハ調べガ簡単ニ行クカラ、ソレガ

徵稅上面倒ダト言ハズニ御研究ヲ願ヒタイ

ト思フノデアリマス

○松隈政府委員 株式ノ實物ノ賣買ニ對ス
ル課稅ヲ致シマストスレバ、船舶會社ノ株、

鑛業會社ノ株ダカラ是ハ課稅スル、サウヂ

ヤナイ、重工業ノ會社、或ハ一般ノ事業會

社ノ株ハ賣ツテモ實物ノ賣買ニ對シテモ課

稅シナイ、斯ウ云フコトニスレバ又今度ハ

課稅上ノ扱ヒトシテノ不公平ガ出來マスカ

ラ、結局切ルト致シマスレバ、清算取引所

得ニ對スル課稅ノ所デ切ルカ、或ハ清算取

引以外ニ實物取引ニ對シテモ課稅スルトス

レバ、全部ノ株ノ實物取引ニ課稅スルト云

フ以外ニ、稅ノ上デハ切り方ガナイト思ヒ

マス、其ノ場合ニ於テ一部ノ會社ニ、殊ニ

船舶、鑛業權ニ付テハ御話ノヤウナ場合ガ

出ルカモ知レマセヌケレドモ、ソレハ只今

モ御話ガアリマシタヤウニ、會社經理統制

令ノ方面トモ連絡ヲ執ツテ善處スルヤウニ

致シタイト思ヒマス
○勝委員長 本日ハ午後ハ委員室ノ關係上
續行ガ出來マセヌノデ此ノ程度ニ止メマス、
尙ホ明日ハ午前中ハ委員室ガ塞ガリマスノ
デ、午後一時カラ開會致シマス、本日ハ是

ニテ散會致シマス
午後零時十分散會